



深澤 博幸

・ドローンの活用について
・カラーマンホール製作事業について

質問 今やドローンの開発や活用は目覚ましいものがある。災害、農業、林業、生態調査、イベント等様々な場面での活用を我が町でも検討すべきではないか。

町長 防災対応や産業振興など、幅広い分野で活用されており、安全規制や社会インフラの整備、専門人材の確保や育成に課題はあるが、今後も更なる活用、普及が期待される。本町の活用状況は、委託業務発注による記録及びPR映像の撮影等、今後も同様の方法により実施していく。

防災面では、用途の緊急性や住民の安全確保の点からドローンを保有する理由になると考えられるが、導入に当たっては運用方法の整備や人材の確保、育成など課題は多く、今後は民間事業者との防災協定等による迅速な対応も視野に入れ

つつ検討を進めたい。

質問 カラーマンホールの製作事業について、3種類製作とあるが、その理由と製作費126万円の積算根拠は。

町長 公共下水道施設は、整備以来25年以上経過し、老朽化が進み、毎年度、下水道管路の内部を適時、改修している。今後、下水道施設の大規模改修に着手することを契機に、下水道からイメージされるアイテムの中でマンホールの蓋を通じてシステム^{ふた}の存在を視覚的にアピールし、その仕組みや全体像、役割を広く啓発することにより、地域住民における環境負荷、低減意識の醸成を図る。近年、地域の特色あるマンホールが観光資源として役割を果たしていることから、地域のにぎわいや話題づくりを期待し、開始時デザインを

作成した2種類に、町のマスコットキャラクターを使用した1種類を加えた3種類の作成を計画する。費用の内訳は、型枠及び製作費が61万3千円、色つき作業費用が65万2千円。直径60センチ、厚さ1.6センチ、重量は38キロ、設置場所は役場町民ホールを基本に考え、移動可能な仕様とし、下水道の役割や仕組みを示したパネルも展示する。展示期間を限定する考えはない。

質問 今後、126万の費用対効果をどう図るのか。

町長 費用対効果は難しいと思っている。蓋が耐用年数の25年を経過し、更新時期にある。今後は、企業会計に変わり、利用料金の中で収支を取る方式に代わることも、PRして皆さんと一緒に考えようということ。



現在のマンホールデザイン

6月20日
第4回幌延町議会
定例会

第4回幌延町議会定例会は6月20日(木)に開会され、2名の一般質問のほか、報告3件、議案6件、意見書1件を原案どおり可決し、同日、閉会した。

議案第2号 幌延町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

齋賀議員 現在の保育士の数は何人いて、この条例が改正されたら保育士の数は何人必要になるのか。
鈴木園長 園長含め13名。改正による影響は無い。



こども園の様子 (畑への水やり)

議案第4号 工事請負契約の締結について(問寒別地区給配水管改修工事)
工事延長3千520.5

4メートル。橋梁添架工2箇所、道道横断工2箇所、給水管布設工4箇所。

議案第5号 令和6年度幌延町一般会計補正予算第2号

齋賀議員 幌延町は、これだけ橋も道路も維持のためにやっているのに、なぜ、補助金が減らされるのか。
角山産業建設課長 最終的には国の予算の配分なので、頂いた補助金を使って事業をやりたい。

意見案第1号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について

報告第2号 有限会社幌延町畜産振興公社の経営状況報告について

令和5年度の預託牛は前年度より63頭少ない627頭。預託牛の事故は心不全による死亡が4件、股関節脱臼による廃用が1件。

無量谷議員 今後の上幌延